

能本市動植物園

復活への道

新聞

四年 全原慶盛

動物の幸せ



十一月十二日、能本市動植物園に取材してきました。獣医師の上野さんなどの方からお話を聞いて、被害の大きかった非公開エリアを見学したりモルモットにふれ、命を学ぶ授業に参加してきました。



チンパンジー舎でオスのルクがレイダンスをひらいてくれました。

動物福祉

動物福祉とは、動物の幸せのレベルです。動物福祉には、

ハズバンダリートレニングと環境エリートメントなどがあります。ハズバンダリートレニングとは動物の健康のために、動物に協力してもらえるように訓練することです。たとえば、注射や採血などがありません。無理やりおこえるのではなく、自ら手を出してくれるようになり

ます。

環境エリートメントとは、野生と同じ行動ができるように環境をととのえてあげることです。たとえば、キリンは舌を使って葉を取って食べるので、小さな穴のあいだつつの中に餌を入れて食べさせることなどです。このようなことをすると、ストレスがなくなる、キリンが柵をなめるなどの行動をしなくなります。

動物福祉とは、動物の健康や野生と同じ



いような環境に近づ
けたり同じような行
動がとれるように人
がしてあげることで
す。

編集後記

いままでは動物園に
行ってもそこにいる
動物が幸せかどうか
考えたことがなかっ
たけれども、上野さ
んなどのお話を聞い
て動物の幸せについ
てよく考えるいい機
会になりました。
非公開エリテの動
物はとても生き生き
しているように見え
ました。人に見られ
るストレスがないよ
うに見えたのがとて
も興味深く感じまし

た。
だから上野さんが
言っていたように、
動物と共に幸せな動
物園になればいいと
思います。
ぼくが考えた未来
の動物園は、人工知
能を使ってガイドを
してもらおうことです。
人工知能がガイドを
してくれれば、その
場で思ったことを気
軽に質問できて、よ
うやく動物のことを
知れるからです。

私の考える未来の動物園は

来てくれた人に動物のいろんなことを知ってもらえる動物園です。

そのために次のアイデアを提案します

AIを使ってしつもんに対応してくれるガイドをつけることです。

名前

金原慶盛